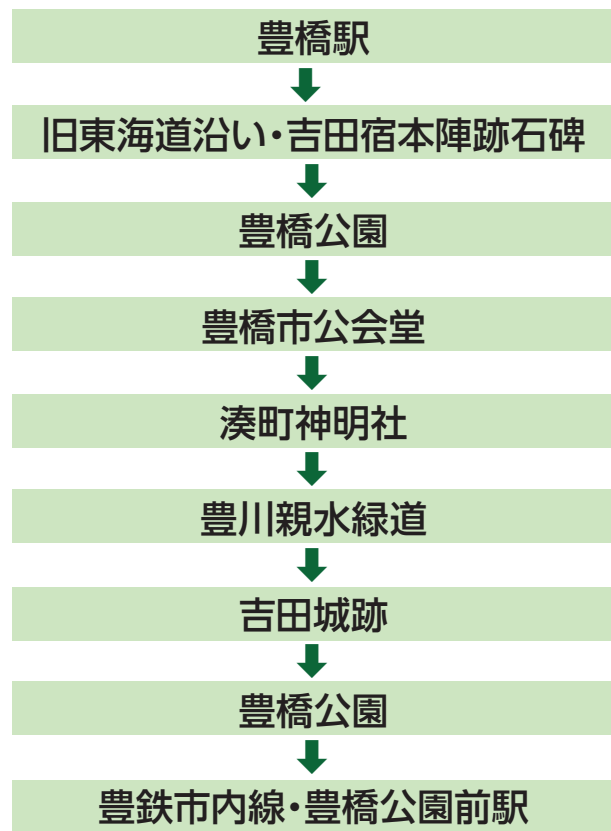


旧東海道から吉田城跡周辺を気軽に歩くコース

ウォーキング 約6.3km/約1時間30分/消費カロリー約270kcal



とよはしこうえん 豊橋公園

豊橋公園は豊橋市のシンボルの公園でテニスコート、陸上競技場、武道館などのスポーツ施設などがあり、また、吉田城跡、美術博物館、三の丸会館と文化施設にも富む都会のオアシスとして、広く市民に親しまれています。豊川は東三河地方の発達に大きな役割を果たし、この地域に無くてはならない存在です。堤防沿いに設けられた豊川親水緑道は地元の皆さんの生活道路であるとともに、私達に大きな恵みをもたらす豊川の水辺に親しむことのできる散策路でもあります。

こうかいどう 公会堂

昭和6年[1931]建築。半玉ドームと鷲がシンボルのロマネスク様式で建てられており、国指定登録文化財です。完成以来多くの催しが開催され、現在も講演会や集会・音楽会・観劇会等に利用されています。しかし昭和20年[1945]6月には戦火をさけるため豊橋市役所の機能が移された時期や市民の窓口センターとして利用された時期もありました。

みなとまちしんめいしゃ 湊町神明社

伊勢神宮との関係が深く、毎年5月14・15日に御衣祭りが行われます。御衣祭りの祭礼後、伊勢神宮へ御衣を奉獻します。また、庭には茶道宗偏流の始祖山田宗偏作と伝えられる「蓬菜の島」があり、この島の一角に松尾芭蕉の句碑「旅寝塚」があります。「越人と吉田の駅にて寒いけれど二人旅寝そたのものしき」と刻まれています。

とよがわ 豊川

豊川は愛知県設楽町を源流として、愛知県東部を流れる豊川水系の本流で一級河川です。流路77km、流域面積724km²で三河湾に注いでいます。全国でも屈指の清浄な水質の川です。

よしだじょうあと 吉田城跡

吉田城は、永正2年[1505]、今川氏の被官であった牧野古白によって築城されました。以後、東三河の要衝であった今橋城は、今川、武田、徳川ら戦国武将の攻防を経て吉田城と改称されました。天正18年[1590]、徳川家康の関東移封により池田輝政が入城し15万2000石の城地にふさわしい整備拡張をすすめました。現在建っている鉄櫓は昭和29年の再建ですが、櫓の下西側の石垣は池田輝政時代の遺跡です。

こちらも
Check!

豊橋市内に設けられた「健康の道」が10箇所紹介されています。
「とよはし健康の道 ウォーキングマップ」→



※本コースは、「とよはし健康の道 ウォーキングマップ」の「豊橋公園・豊川リバーサイドコース」を基に作成しています。